

女性社員の活躍支援

現在、グローバル競争社会に入っており、年々この影響が深まっています。企業間競争が激しさを増している現代において、企業にとって人材確保は非常に重要な課題となっています。また少子高齢化の進展により長期的に見ると、人材確保が非常に難しい社会になりつつあります。このような流れの中、男性だけでなく、女性もより積極的に働くことが、人材確保の面から社会的に求められています。

これらを踏まえて、当社では「女性にとって働きやすい職場とは、男性にとっても働きやすい職場である」との認識のもと、男女の区別なく生き活きと能力を発揮して働ける職場づくりに取り組んでいます。人事制度の改定により出産・育児・介護の支援策を充実させ、洗面所や休憩室といったインフラの充実も図るなど、女性社員の活躍支援を積極的に推進してきていますが、本年は本格導入2年目に当たる大切な年です。「女性が働きやすい職場づくり」に向けた諸施策を実行し、これを定着させていく所存です。

第7次中期連結経営計画の着実な推進を

山陽グループは、「『高信頼性鋼の山陽』のブランド力の更なる向上による企業価値の増大」、「事業基盤を一層強化して『世界に存在感を示す特殊鋼メーカー』を目指す」という基本方針で、第7次中期連結経営計画を進めています。

本計画の重点施策のひとつに、「環境対策の確実な実行」を掲げていますが、電気炉集塵設備の能力増強や重油から都市ガス(天然ガス)への燃料転換に加え、東北地区向けの特種鋼材のトラック輸送を鉄道輸送に切り替えるなどの取り組みを実行しています。

今後も、二酸化炭素排出量の削減など資源循環型社会の構築に向けた事業活動を推進し、環境保全に向けた取り組みに注力してまいります。

なお、今回より、報告書の名称を、「環境・社会報告書」から「CSR報告書」に改め、これまで以上にステークホルダーの皆様とのコミュニケーションツールとしての充実を図ってまいりたいと考えています。

ステークホルダーの皆様におかれましては、今後とも山陽グループに対し、格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2009年9月

山陽特殊製鋼株式会社
代表取締役社長

藤原信義

3. 重点施策

【1】 拡大する国内外の需要を着実に捕捉し、製品を適切に供給することによる利益成長

中国やインド等のBRICs諸国や資源国を中心に世界規模でビジネスを展開・拡大する需要家のニーズを的確に把握し、高品質の特殊鋼を適切に供給することにより、需要家の競争力向上に貢献するとともに当社の利益成長を図る。

【2】 適正なマージンの確保

鉄スクラップをはじめ、高騰を続ける原燃料価格に対しては内部努力を重ねるとともに、それを上回る価格上昇分については需要家の理解を得て販売価格を改定し、適正なマージン確保を目指す。

【3】 非価格競争力の強化を通じ、高度化する需要家ニーズに対応
高機能な差別化商品や製造技術の開発などによる技術先進性の拡大を推進し、また、品質保証の高度化、生産対応力・納期対応力の強化に取り組むなどの非価格競争力の強化を図り、国内外の高度化する需要家ニーズに応える。

【4】 堅調な需要に対応できる供給体制の構築 (10万トン/月生産体制の実現)

中期的に堅調な需要に対応できる供給を実現するため、操業度の徹底的向上および効率的な生産を図るとともに、ボトルネック解消のための設備投資などを行い「10万トン/月」の安定的な供給体制を構築する。販売規模については、今後の需要状況を見て検討していく。

【5】 環境対策の確実な実行

これまで実行してきた電気炉集塵設備の能力増強や重油から都市ガス(天然ガス)への燃料転換に加え、二酸化炭素排出量の削減など資源循環型社会の構築に向けた事業活動を推進する。